

「令和4年度まちづくり懇談会」に代わる「地区からの
ご意見・ご提案」に対する町のコメントと回答について



▲緑に包まれるスポーツ村交流センター(令和4年4月オープン)

阿久比町役場総務部政策協働課

各地区からの「テーマについてのご意見、ご提案」について

テーマ１：ごみ減量化を進めるために地域や家庭ができること

この度はご意見やご提案ありがとうございます。

今回、地区の皆様からいただいたご意見やご提案などについては、広報あぐいの連載記事の中で扱うなどし、町民の皆様にも周知していきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

テーマ１に関する各地区からのご意見・ご提案①

【横松③】生ごみ処理機での自家処理をお願いして堆肥化させる。

【萩①】アスパ、コンポストを配布して堆肥化の推進

【福住①】このテーマでは、コンポストの活用など生ごみの堆肥化について自治体単位で取り組む事例をよく耳にする。当町では本格的に推奨していないことから、決定打では無いのかもしれない。

【福住②】堆肥を作っても、農家であるか、ガーデニング、菊作りなどを趣味にしていると、できた堆肥の使い道に困る。

【植②】「生ごみ、伐採草木などの堆肥化」⇒生ごみ処理機「キエーロ」は今までのコンポストなどより利点が多いと思われるので、出前講座などにより普及が促進されれば減量化が期待できる。

【各地区からのご意見・ご提案①に対するコメント】

家庭から出る生ごみの減量化に有効なコンポストなどのいわゆる「生ごみ処理機」については、配布は行っていないですが、平成１２年度から補助制度を設けています。今年度から、新たに「キエーロ」を補助対象として追加し、制度の拡充を図っています。「キエーロ」は、生ごみの水分を切らずに使えることが特徴です。「キエーロ」は、生ごみの堆肥化が目的ではなく、ごみの減量が目的です。使っていくうちに窒素・リン酸・カリウムなどの栄養素が豊富な肥えた土になっていきますが、堆肥の使い道がなくても、ご家庭でご利用できます。

ここで、補助対象となっている「生ごみ処理機」それぞれの特徴を紹介させていただきますので、地区でご紹介いただければと思います。

- ①コンポスト型容器…底部が無く、水分が地中に浸透する。１００ℓ以上サイズの容器。
- ②ＥＭ容器…ＥＭ菌を使用し、生ごみを堆肥化する。
- ③処理機…加熱・バクテリア等による分解等の方法により、生ごみの容積を減少

させる。

- ④キエーロ…黒土に含まれるバクテリアが地中に埋めた生ごみを分解する。分解には日光と風と適度な水分が必要で、日当たりが良く、風通しが良い軒下、ベランダに設置する。水分を必要とするため、生ごみの水切りは不要。

ご要望があれば、積極的な推奨に向けて、案内チラシの提供や地区における「出前講座」に職員が出向きますので、申し出てください。

また、生ごみにかけて発酵を促進し、質の良い有機肥料を作るアスパを配布しています。アスパを使って生ごみを有機肥料にすることはごみを減らすことにつながります。アスパは以下の場所で配布しています。

- ・中央公民館本館（北側入り口）、町立図書館、オアシスセンター（町保健センター）
- ・あいち知多農協 阿久比・草木の各支店、アグリスふれあい館植大

テーマ1に関する各地区からのご意見・ご提案②

【横松①】食べ残しを減らそう町民運動 ポスター、チラシ配布

【横松⑤】家庭で調理する食材は必要な分だけ購入して食べ残さない。（食材を買いに行く前に冷蔵庫の中を確認）

【板山②】食品ロスをなくし、生ごみは水分をよく切ってから捨てる。

【卯之山①】余分なものは買わない。

【卯之山②】大量に買わずに必要な分のみ買う。

【各地区からのご意見・ご提案②に対するコメント】

「食べ残し（食品ロス）を減らす」ためには、身近な食生活における環境への負荷軽減のため、適正な食事量を知り、作り過ぎない、買い過ぎないことが大変重要です。また、家庭で食品ロスを出さなくすることに加え、食料品を購入する際に賞味期限の近い商品から購入し、家庭で消費することも重要です。

町民の皆様にごみの減量を意識してもらえよう、ポスターやチラシの配布に代わり、広報あぐい毎月1日号に「考えよう！ごみの減量化」という連載記事を掲載し、ごみ減量のヒントや本町のごみ排出状況などをお伝えしていますので、地区の皆さんにもご紹介願います。

テーマ1に関する各地区からのご意見・ご提案③

【横松②】レジ袋削減町民運動（マイバッグ）、（スーパー、小売店、コンビニに依頼）要らない段ボール依頼

【横松⑥】買い物時のマイバッグ活用を心がけてもらう。

【各地区からのご意見・ご提案③に対するコメント】

「マイバック（エコバック）」の持参は、レジ袋の有料化により、広く浸透してきました。レジ袋の使用枚数は1人1年間で300枚とも言われています。買い物には繰り返し使用できるマイバックの持参などを推奨してまいります。

段ボールはほぼ100%リサイクル可能で、我が国の回収率は95%以上です。スーパーなどから段ボールに入れて持ち帰ったあとは、資源ごみとしてリサイクルに心掛けてください。

テーマ1に関する各地区からのご意見・ご提案④

【萩②】町のどこかの施設に町民からの不要だがまだ使える物を回収して欲しい人に譲る。

【各地区からのご意見・ご提案④に対するコメント】

「使える物を欲しい人に譲る」ことについては、昨年度までコロナ禍で中止していましたが、今年度から粗大ごみの再利用制度を再開しております（詳細は4月に開催しました第1回阿久比町行政協力員会の議題資料「建設環境3-4」を参照してください）。また、子育て支援課において、子供の成長に伴い不要になった子供用品を希望する方へ無償で配布する子ども用品リユース市は継続して実施しております。個人においては、民間サービスではありますが、スマートフォンやパソコンがあれば誰でも不要品をやり取りできる「フリマサービス」もありますので、ご活用ください。

テーマ1に関する各地区からのご意見・ご提案⑤

【横松④】詰め替え用の商品を利用しプラスチックごみを削減

【板山①】資源ごみは、正確に分別する。

【福住③】現在も町から頂いている「資源ごみ回収事業報償金」について、毎月の実績を「資源ごみの日」にゴミ置き場などに掲示するなどして、地区住民に広報（周知）した方が、効果があるのかもしれない。

【植①】「捨てればゴミ・分別すれば資源」⇒可燃・プラ・不燃、資源の分け方が分からず曖昧になっていることが多い。学校や地域で人が集まる場などで出前講座を開いていただき、ルールをしっかりと学ぶことによってそれぞれの家庭で実践する。

【各地区からのご意見・ご提案⑤に対するコメント】

「詰め替え容器」の商品が環境にやさしいのは、ボトル本体の容器に比べ、詰め替え用の方がプラスチック使用量や重量が圧倒的に少なく、廃棄するごみの

量が減るからです。しかし、これらの詰め替え容器にリサイクルマークがついているにも関わらず、燃えるごみで出されれば、焼却により二酸化炭素を排出することになります。家庭用の可燃ごみには、まだまだ多くの廃プラスチックが含まれており、一人ひとりの分別の意識がとても大切ですので、地区における資源ごみの分別の徹底・周知にご協力ください。

「資源ごみ」の正確な分別は、減量化において大変重要な作業になります。全国先進地事例では地区住民が排出する段階で数十種類に分けて排出し、中間処理業者の手間（費用）を大きく削減しており、そのことにより住民へリサイクルの意識も浸透しています。

「資源ごみ回収事業報償金」事業については、毎月の実績などを行政協力員様宛てに郵送しております。地区におきましては、ぜひそれを活用し、ご提案のように毎月の実績を地域住民の方にお知らせするなど、地域での効果的な啓発にご協力願います。

テーマ１に関する各地区からのご意見・ご提案⑥

【萩③】 家畜などの動物にエサとして使えないか？

【各地区からのご意見・ご提案⑥に対するコメント】

食品残渣の飼肥料化は、外食産業、スーパー等から排出される食品廃棄物を高速発酵処理し、飼料、肥料、土壌改良材等を製造するものです。この食品残渣の飼肥料化に限った話ではありませんが、本町単独での事業化は難しく、他市町も含めた広域的な取り組みが必要と思われます。先進事例を参考に研究してまいります。

テーマ１に関する各地区からのご意見・ご提案⑦

【福住④】 「家庭用剪定枝破砕機」を町から地区や家庭に貸し出していただけるとありがたい。

【植③】 伐採草木の堆肥化は減量化には非常に有効と思われるが、管理地で行わないと不法投棄の温床になりかねないので植地区では難しいので、町での施策が必要。

【各地区からのご意見・ご提案⑦に対するコメント】

民有地から道路に越境した竹や樹木の枝で通行の支障になる苦情が数多く寄せられております。法面などに繁茂した草は、野焼きによる異臭の苦情や、刈り倒し放置した結果、大雨で流出し下流の水路を閉塞し、道路法面が崩壊するなどの一因にもなっています。「家庭用剪定枝破砕機」の貸出については、現在考え

ておりませんが、地域の方が、一連の作業において刈草剪定枝の処理まできちんと完結できるような仕組みづくりを研究してまいりますので、各地区においてもご協力をお願いします。

伐採草木は、現在可燃ごみとして排出していただいておりますが、可燃ごみを減量するために伐採草木の資源化、堆肥化は大変有効であると考えております。町管理地での伐採草木の堆肥化につきましては、町が所有する公有地の利用における庁内調整に加え、常設による経費など様々な検討事項がありますので、近隣市町の先進事例を参考に検討してまいります。

テーマ２：スポーツ村交流センターが町民にとって使いやすい施設となるための方法やアイデア

ご意見やご提案ありがとうございます。

交流センターの設置目的から、老若男女問わずスポーツだけでなく文化芸術、各種イベントなど多目的にご利用いただきたいと考えています。

今後は、利用状況や予約状況を勘案しつつ、町民の皆様から多くの意見をいただきながら、より利用しやすい施設となるよう努めてまいります。

テーマ２に関する各地区からのご意見・ご提案①

【阿久比団地①】スポーツ村交流センターの内容がよくわからないため、施設の紹介、利用料、申し込み方法などを町民に分かりやすく広報あぐいに掲載していただきますようお願いいたします。

【棕岡①】交流センターをもっとホームページ・広報・SNS等で知ってもらう活動が必要。また施設使用のロードマップを策定して実現してほしい

【陽なたの丘①】どのような施設なのか住民に浸透していないと感じる。何があるの？という質問あり。各公共施設での掲示やホームページ等での宣伝を増やす。

【各地区からのご意見・ご提案①に対するコメント】

スポーツ村交流センターの令和４年４月１日オープンにあたり、利用できる施設の概要等について広報あぐい令和４年１月１・１５日合併号にてお知らせを掲載しました。しかし、交流センターの認知度の向上は喫緊の課題であることは把握しており、広報あぐいや町の公式ホームページ、ツイッターやアグナビでのPRを今後も行なってまいりますのでよろしくお願いします。

これから、施設の利活用や整備を進めていくためには、ご意見にありますように施設利用のロードマップ作成の検討も一つの方法であると考えております。

テーマ２に関する各地区からのご意見・ご提案②

【白沢③】スポーツ村交流センターの認知度の向上

- ・競技大会の誘致（まずは中学・高校等の大会）
- ・定期イベントの開催（内容はスポーツにこだわらず施設を利用してもらう）
- ・多くの町民が参加できるイベントを主催し、施設を見てもらう

【坂部⑤】各団体の役員関係者が現地・施設を見る機会や体験をしてもらい、その中で地区や団体としてやれる行事を提案してもらい、共に活用していく。

【各地区からのご意見・ご提案②に対するコメント】

競技大会の誘致については、競技を開催できる規模の施設ではありません。部活動の練習場所としては適していますので、積極的に利用していただきたいと考えています。

交流センターがオープンしてから、生涯学習フェスティバルのニュースポーツ体験、体力テストや子育て世代を対象にした親子スポーツ体験などのイベントを行い、より多くの方に施設を使ってもらい、知ってもらいきっかけを作るようにしています。今後も交流センターをはじめ、スポーツ村を使ったイベントや行事を予定していますので、各地区の皆様の参加をお待ちしています。

また、施設見学のご希望がありましたらご案内しますので、社会教育課体育係へお気軽に問い合わせてください。

テーマ2に関する各地区からのご意見・ご提案③

【棕岡⑤】 アグピー号の増発をする

【坂部④】 スポーツ村交流センターは町中心部より離れています。車又は巡回バスを使用しないと行くことが出来ません。老人や子供が行くにはややハードルが高いです。

【各地区からのご意見・ご提案③に対するコメント】

現地までの交通手段については、距離のある町民の方は自家用車やアグピー号などをご利用いただくことを想定しています。アグピー号は循環バスであることから特定の停留所（スポーツ村）への増発は難しい状況ですので、ご理解ください。

テーマ2に関する各地区からのご意見・ご提案④

【白沢①】 体育館とジムの両方の機能を持った施設として利用機会を増やし利用者増を図る。

- ・ トレーニング室器具の移動・拡大
- ・ 器具の男女エリアを分ける

【棕岡③】 トレーニング室を移設する

【白沢②】 施設に管理者を常駐させる。

- ・ 利用受付が不便
- ・ 利用時に何かあったときの対応が心配
- ・ 球技利用時のポール設置などの案内、補助がない

【棕岡④】 案内看板等の整備をする

【棕岡⑥】 総合型スポーツクラブの拠点とする

【各地区からのご意見・ご提案④に対するコメント】

スポーツ村クラブハウス内にあるトレーニング室の交流センターへの移設は既に検討しています。管理者常駐のご意見につきましては、現在、スポーツ村クラブハウス事務室に常駐するスポーツ村職員が交流センターの管理も担っており、今後の事務室移転を含めた配置体制について進めてまいります。今後も、スポーツ村クラブハウスと交流センターの両施設が相互に利用しやすい方法を検討してまいります。

テーマ2に関する各地区からのご意見・ご提案⑤

【草木①】 一般開放される5つの部屋のうち、多目的体育室は他の市町に無い人気スポット施設なので、一般市民に広く開放してほしい。

【草木②】 従来は特定スポーツ団体とか、特定の団体・組織が主に使用していたと思う。そこで初めてグループ使用優先制度とか、抽選方法を工夫してできるだけ多くの市民・団体が利用できるルールを制定していただきたい。

【草木③】 公平かつ、平等に使用できるよう市民に配慮してほしい。

【棕岡⑦】 市民はリーズナブルな使用料が望ましい

【各地区からのご意見・ご提案⑤に対するコメント】

今年度、多目的体育室は各種スポーツ団体や学校部活動などをはじめ、多くの方にご利用いただいています。さらに、6月27日から9月4日まで、屋内プールの一般開放を行い、70日間で3,346人、一日平均48人の皆さんにご利用いただきました。今後は1年を通して利用できるようにするため、温水に向けた整備を進めてまいります。施設全体として一般の利用者も増加しています。

一般市民の方にもご利用いただきたいですので、地区・自治会行事や地域の子ども会などでの利用を、ぜひご検討ください。なお、使用する日の2か月前から3日前までに使用許可を受ける必要がありますが、地区行事日が固定されており、2か月より前の申請を希望する場合はご相談ください。

個人利用の場合、スポーツ村陸上競技場と同様に当日に空きがあれば、ご利用いただけます。

テーマ2に関する各地区からのご意見・ご提案⑥

【坂部①】 行政協力員会を交流センターで開催する

地区役員からの情報発信は必須です

【坂部②】 老人会（長寿会）全体会議を開催する

【坂部③】 子ども会等 全体会議を開催する

【各地区からのご意見・ご提案⑥に対するコメント】

町としまして、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、エスペランス丸山やアグピアホールといった広い会場で開催させていただいております行政協力員会について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を注視しながらスポーツ村交流センターでの開催を検討してまいります。また、いきいきクラブ連合会、子ども会連絡協議会の全体会議などを交流センターで開催できることを事務局の社会福祉協議会に伝えさせていただきます。

また、行政協力員の皆様による情報発信は、施設の活性化につながると考えますので、スポーツ村交流センターを利用した際には、積極的な情報発信をお願いします。

テーマ2に関する各地区からのご意見・ご提案⑦

【棕岡②】 宿泊施設の利用は、スポーツ合宿・レンタルルーム（Wi-Fi 完備）として活用

【矢口②】 合宿施設へ⇒会議室等を合宿施設に改装。シャワー室、食堂を設置（食事は業者配達・自炊不可）合宿施設にすることで、利用が高校・大学の利用が見込まれるのでは。また、外食産業、寝具業者、クリーニング業者など阿久比町内の関連業者への好影響も予想される。

【各地区からのご意見・ご提案⑦に対するコメント】

ご提案にある施設としての整備は将来目標の一つですので、貴重なアイデアとして検討材料とさせていただきます。

テーマ2に関する各地区からのご意見・ご提案⑧

【陽なたの丘②】 中学生同士でも気楽に利用できるよう、学校を通じて予約できるようにする。

【各地区からのご意見・ご提案⑧に対するコメント】

施設予約を学校で受けることに関しては、教育活動ではありませんので先生方をお願いすることはできません。施設の予約は、スマートフォンやパソコンを使えば、いつでもできますのでそちらをご利用ください。

テーマ2に関する各地区からのご意見・ご提案⑨

【矢口①】地域住民はエスペランス丸山や役場・地域の公民館など会議等を行える場所は十分であるので、スポーツ村の会議室等を利用する頻度は極めてまれになると推察する。

他地域から（東浦・半田等）からわざわざ会議室利用のためだけに遠距離・交通の便のよくない阿久比スポーツ村に来るとは思えない。

従って、会議室等の利用は町内外を含め極めて少ないと思える。会議室等の維持は、町にとってメリットが極めて少ないと思える。

【各地区からのご意見・ご提案⑨に対するコメント】

交流センター内には、旧医・科学研究所から引き継いだ多くの部屋があります。その中でも、まずは町民の皆様が利用できる多目的体育室はじめ、会議室や研修室などを整備しました。多目的体育室を使った後に、会議室等でミーティングをするなど併用して使っていただければと考えています。